

2012-03-12 00:00:00

ボクシング世界チャンプに世界最速で突撃！独占インタビュー

テーマ:マイナースポーツ

2012年2月19日、フィリピン・マニラにて、WBC 世界ユース・シルバーフェザー級タイトルマッチが行われ、三迫ジム所属・岩井大選手が世界チャンピオンとなった。ユースタイトルを獲得した事があるのは、過去に亀田和毅・渡邊卓也両選手のみ。日本史上3人目の快拳となった。



今回、私の高校時代の友人でもある岩井選手とコンタクトを取る事に成功、インタビューに応じて頂いた。この日は試合が行われたわずか4日後の、2月23日。世界最速独占インタビューである。



—まずは、世界チャンピオンおめでとう

ありがとう。

—さっそくけど試合の事について。まだダメージは残ってる？

いや、全然パンチは貰わなかった。フィリピンだしアウェイだから、相手のジムのオーナーがすごい金持ちなんだけど、そいつが選んだ会場と興行で、完全アウェイだから、あきらかに相手の頭で目を切ったんだけど、それを主張してもレフェリーが「パンチで切った」とか言い始めて、パンチで切って終わっちゃうとTKOになっちゃうから、ウソつけ！と思ったんだけど、隣でドクターも血が止まっているのに、「それ以上血が出たら試合止めるよ」とか言い出して(笑)、あからさまに終わらせようとしているのよ。だからホントに絵に描いたようなアウェイだった。

—中立地とかじゃないんだね

そう。向こうのジムの中で、一番手塩にかけて育てた選手だったから、どうしてもタイトルを取らせなかったみたいで。

—そんな中、日本人では3人目、シルバーフェザー級では初のタイトル獲得。

中々、いかつい快拳だったね(笑)

—急に友達が増えたりした？笑

ミクシーの友達申請が4件くらいきたよ(笑)。みんな口を揃えて「チャンピオンおめでとうございます」とか言って。わかりやすいなお前らと思った(笑)。

—報道されたらもっとすごいことになりそうだね

どうだろうね、渡邊卓也選手がユース取った時もあんまりニュースにならなかったからね。まあボクシングのサイトではいっぱい取り上げられてたけど…。ボクシングの人気低迷もあって、サッカーで言えば U23の大会で優勝したくらいの価値がある事だけど、騒がれないだろうね。

—その WBC ユースの出場資格はどういった人に与えられるものなの？

いっぱいいるよ。各国のランキングに入ってる、23歳以下であれば。俺は移籍問題で日本ランカーじゃなくなっちゃったんだけど、元日本2位で移籍したジムが力を持ってる三迫ジムだったから、なんとかねじ込んでくれた。実現するにあたって結構お金掛かったみたい。それを試合前にポロっと言われたからね。ぜってー一負けらんねーよと思って(笑)まあそのプレッシャーもプラスにするしかないからね。移籍してからの初戦で1年3カ月ぶりの試合だったから、色々不安要素はあったけど、すごい喜んでくれた。

—しばらく減量はないんでしょ？

最近試合したばかりだからね。あと2カ月くらいは好き放題食べられるよ。でも今回減量がすごい楽だったんだよね。

—でも減量は大変なんじゃない？

汗が出にくい人は(減量に)苦労するよ。俺は汗っかきで新陳代謝がすごい良いから、減量しやすいよ。

減量中ってみんな、喉が渴いたり、お腹減ったりとかストレスで寝れなくなるんだけど、俺それが無いから、すごい特技なんだよね。みんな寝れない中で俺は9時間とか寝るからね(笑)だから減量中は寝るのが一番楽。

—減量中の食べたいとか飲みたいとかいう欲求はないの？

人間って面白いもので、飯食ってるからお腹減るの。習慣が頭に染み付いてて、朝・昼・晩って三食食べてるとその時間にお腹がすく。でも食べないと、お腹減らないんだよね。でもさすがに飲み物が飲めないのはきつい。体の水分比率が下がると脱水症状になるんだけど、それがきつい。ドライアウトっていうんだけど、極力体の水分を下げるのは、ラスト1日、2日だけだね。で最後にドーンと体重2キロくらい下げて。今はもうボクシング界も変わってきて、昔みたいに試合前日はとんかつ食べるとか、水を一切飲まないとか、そういう時代じゃない。高タンパク低脂質で、炭水化物を抜いた食事を一カ月くらい続ける事によって、体がグリコーゲンローリングって言って物凄い筋肉質な体になるわけ。その状態から試合直前3週間くらい前になって、今度はカーボローディングって言って炭水化物ばかり取るの。そうすると低脂質で筋肉質な体の中に炭水化物がはいると、体重は落ちてるけど体は動く。かつ筋肉量は落ちない。そういう科学的に証明されてきて、減量しやすい世の中になってる。自分の体を知る為に、移籍問題中に、本を読んで勉強して、今回それを実践したら全然違った。

—そこで調理師免許を持っている事はプラスに働いたの？

いやー、いかんせん(プラスに働いて)無いね(笑)。作ろうと思えば作れるんだけど、調理をするとどうしても油を使うから、カロリーが高くなる。極力、和食特有の生で物を食べるっていう刺身とか、豆腐とか納豆とか、そういうものが高タンパク低脂質のものになるから、だから俺は日中、納豆とキムチと豆腐を混ぜたものばかり食べてる。それと野菜ジュース。それで体質がだいぶ変わったね。

—体質はどれくらいで変わった？

半年くらいかな。自分の体だから、毎日風呂とかで見るわけじゃん。そうするとどんどん変わっていったのがわかった。あと、俺が勉強したことが先月号くらいの Tarzan に載ってた(笑)

—それももうすでに実践してたんだね

そこに痩せる為の特集をやってて、今脂肪を落とす事を目的にやってるから見てみようと思ってみたらさ、俺が実践してる事とかがさ全部書いてあった。

—でもそれは、俺の知ってる事が合ってるという確認にもなるね

そうそう。痩せるっていったって、何か目標がないとダメなんだよ。俺らボクサーは体重を下げないと、試合をまず出来ないからっていう最大の目標が目前にあるわけじゃん。それこそ拳銃突きつけられてるようなものだからね。それぐらい切羽詰まるし。普通の人のただ漠然とした痩せたいと違うからね。どうやったら痩せられるの？ってどこ行っても聞かれるけどさ、(目標がないと)難しいよって(笑)。

—大は、ボクシングを始めてからどのくらい？

7年だね。きっかけは高校の友達に誘われたから。空手をその前に9年間やっていて、空手の師範代が結婚して、あんまり練習こなくなったのよ。自主練でずっとやっていたんだけど、指導者がいない中でやる自主練にも限界があるんだよ。それで、みんな集

まって練習しないで遊びまくって、ヤンキーとかに憧れた時期だったから、好き勝手やってた。これくせになる俺と思って、「空手どうしよう、辞めようかな」と悩んでた時期に、ボクシングに誘われて行ったら、ボクシングジムで「お前ピカイチだ」とか褒められてのせられて、それで始めた。

—ボクシングを始めて、移籍する事になるまでずっとそこに所属してたの？

そうだよ。

—そのジムを移籍する事になった。そして1年3カ月振りの試合が今回。移籍して変わったことは？

スポーツに限らず、何やるにしてもそうなんだけど、心技体ってあるじゃん？心が一番大事だから先にあると思うんだよ。それでメンタルを鍛えたくて、移籍問題で揉めてる時に、本とかを呼んで勉強してたんだよ。本田とかイチローとかもそうなんだけど、メンタルの強い人の特徴は何だかわかる？

何事にも動じない事。常に心拍数が一定である事は、疲れない事に繋がるし、想定外の事が起きても、動じない事によって想定範囲内に含めちゃう。

それ確かなんて思って、それを常に心がけて、俺バカみたいに毎日寝る前に、腹式呼吸して瞑想して、ぶつぶつ「何事にも動じるな」って3・4カ月ずっと言い続けた。そしたらホントに動じなくなってきた。

三迫ジム陣営も心配してたのよ。移籍後初のタイトルマッチだし、敵地だし不安要素が多すぎるけど大丈夫か？って言われた時に、自分の中でも全然動じなかった。「勝ちますから。大丈夫です。」って言って。強がってるように見えたかもしれないけど、自分の中では動じてなかった。

試合の日は結構(スケジュールが)めちゃくちゃだったんだけど、最初は試合開始6時って聞いて、前日にやっぱり5時になったからって言われて、それで5時に行ったら、ごめんねやっぱり6時半になるって言われて変更になったりとか。その日俺の試合の他に9試合組まれてたんだけど、急遽俺の前の試合が無くなって、1試合早くなったからそのつもりでアップしてたんだけど、やっぱり(前の試合)やるよって30分前に言われたりとか、そういうアクシデントがあっても俺の中で全然動じなかった。そういう面で、自分の中でメンタルが確立されているのを感じたかな。

—やっぱり習慣として体に根付くと強みになるよね

あと、緊張ってなんですか知ってる？

—いつも以上の物を出そうとか、自分に期待しているからという風に思ってるけど…

そう、それなんだよね。だから良い事なんだよね緊張って。だからそれは捉え方じゃん？それでさっき習慣って良いよねってなったけど、動じない事も習慣付けられればいいわけよ。みんな馬鹿げてると思ってやらないんだけど、寝る前に電気消して、目をつぶって深呼吸をしながら「何事にも動じるな、何事にも動じるな」って部屋で反響させて独りごとのように言うと、それが習慣付いて、体にはいるんだって。頭の中で考えるだけじゃなくて、口にすることによって、自分の耳に入ってきて、それが自分の深層心理に働いて、意識も変わってくる。それを毎日欠かさずやり続けた。

—確かに、知っててもそれを実行してる人は少ないよね

多分1000人に一人もやってないと思う。そんなの気持ちわりって思っちゃったら最後だから。俺は全くそういう風に思わず、速攻やろうと思った。その日からずっと続けてる。色んな所に効果が表れるよ。まず運転が荒くなくなったし。友達と待ち合わせする時も絶対5分前に着くようになったし。そういうのでも効果が出る。

—そういうのが積み重なってくると、自信に繋がりそうだね

うん。

—話は変わっちゃうんだけど、ボクサーの生活について教えて

人によってだけど大抵は、朝走って、バイトして夕方から練習してって感じじゃないかな。そういうのは日本くらいなんだけどね。日本ってプロのハードルが一番低いんだよ。誰でもプロボクサーになれちゃう。競技人口が3000人くらいいて、毎年増えたり減ったりしている事もあって、ファイトマネーが圧倒的に少ないんだよね。プロの競技なのに。1試合に4万くらいしか貰えないし、食っていけるわけない。アメリカとかだと、もう4回戦の時から莫大なお金が入るわけよ。なんでっていうと賭博の対象だから。人気があって強ければ、4回戦でも150万とか200万入っちゃう。しかもアメリカだと、2カ月に1回くらいでどんどん試合するから、その度にお金が入って働く必要がなくなるんだよね。だから、朝走って、朝練やって、寝て、昼飯食って、2時くらいからまた練習して、後はオフ。それがアメリカとかタイとかフィリピンの流れ。だから日本人くらいじゃない？切羽詰まって働きながらボクシングしてるの。

—日本人はどれくらいのレベルまでいけば、そういう生活から抜け出せるの？

全然そいつ次第。腕があって、かつ人脈があってそいつの人間性が良ければ、社長に一発で気に入られれば、ボクシングに専念させてくれるスポンサーになってくれるような人が沢山いるから。だから実際に、とある社長さんに気に入られて毎月10万くらい貰ってる人もいる。

—じゃあ、今回のタイトル獲得はスポンサーが見込めるの？

正直それはわからない。でもみんなの顔色は変わってたけどね(笑)。それも難しいところでさ、俺から言う事は出来ないからね。

—自分を売り込んでいくような人はいないの？

沢山いるけど、俺はそういう事はしたくないし、逆に働かないと俺っていう人間がどうなるのかわかって想いもあるし。時間が余る事になった時に、怠慢して物事を後回しにしたりとかして、気が抜けちゃうんじゃないかなと思って。一回、新人王の時に4戦4勝2KOで優勝候補筆頭だった時に、年収6億ある人から「スポンサーになってやるよ。お前年間どれくらい欲しいの？1000万くらいあげればいいのか？」って言われた時があって。その時俺も若僧だったから、めっちゃブルったわけ。もしそういう状況になった時にどうなるのって話じゃん。(もしこの話を受けたら)向こうは俺に対して投資してくれたのに、その気持ちに応えられなかったっていう、そうやって自分を苦しめてしまう可能性もあるわけよ。実際、俺はこの後2連敗してるからね。

—じゃあ、大はどのような生活が理想？

朝走って、3、4時間バイトして、練習まで一息ついて、練習がいいかな俺は。週2、3で1日休みを貰って、フィジカルトレーニングを週2、3挟んでみたいな。

—現役中のボクサーはそういう生活を送ったとして、その後のセカンドキャリアはどうなってるの？

ボクシングは競技人口多いからさ、ボクシングで培った研究熱心さだったり、努力する力だったりとか、そういうのを活かしてセカンドキャリアを充実させている人もいれば、逆に元日本チャンピオンだったのにホームレスやったりとか、物凄い差が激しい。だから結局は自分次第なんだよ。やる気次第。他人に頼ってるようじゃダメだと思うんだ。ボクシング辞めたら元世界チャンピオンとか関係ないし、一人の成人男性でしかない訳だから。スタート地点がちよっと違うだけで、そこらへんは普通の人と変わらない。

—大はセカンドキャリアについて考えてる？

もちろん。俺はラーメン屋をやる。千葉中央の柵柵っていう中華料理屋で俺ずっと働いてたんだけど、その暖簾を継ぐ。その店主が中華料理界の顧問なんだけどすごい人で。その人に、俺がすごい食うし、可愛がって貰って、俺が試合終わって報告するたびにすげえ嬉しそうにしてくれてるし。その人に恩返しする為にも。

—注目を浴びたいとかある？

今は無いかな。今注目浴びても、自分の油断に繋がるだけだから。世界チャンピオンになったら注目されたいけどね。それまではいいや。今はホントに練習したい。

—フェザー級の世界チャンピオンには最短でどれくらいいけるの？

全然わかんないけど、今回のタイトルを取った事で、多分世界ランクに入ると思う。世界ランク15位圏内だと、世界タイトルマッチが出来るのよ。移籍したジムは大手で、10-0で勝ちの可能性が無くてもねじ込むようくらいマッチメイクがいかついジムだから(笑)下手したらポンポンいっちゃうかもしれないね。

—マッチメイクっていうのはやっぱりジムの力が大きいんだ

大きい大きい。まず第一に、コネクションがあったとしても結局はお金だからね。世界戦をやるのに大体1500万くらいかかるのよ。小さいジムで、いくら選手が強くて話が来たとしても、1500万用意しろと言われて時に用意できないでしょ？スポンサーがいないと。俺が今行ってる三迫ジムのスポンサーはどこかわかる？フジテレビだよ、すごくない？(笑)

—という事は、三迫ジムの選手の試合を放送するときは必ずフジテレビになるんだ

そう。フジテレビのダイヤモンドグローブっていうボクシング番組。

—やっぱり、ボクシングは勝たないと元が取れないの？

もちろん。というより、その試合自体のファイトマネーは変わらないけど、勝ってその次の試合からの興行権だったりとか、そういうのがプラスになる。

—じゃあ、最初にタイトルを取る時よりも、防衛戦の時の方が儲かるんだ

そう。タイトルに挑戦するときはこっちがお金を払って(試合を)やってもらって、逆にチャンピオンになればお金を貰って試合をすることになる。俺の場合だと、今回はお金を払って試合をしたのが、次にフィリピンで試合をするときはお金を貰ってやることになるから全然違う。だから勝った方がファイトマネーも多いっていうイメージあるでしょ？ホントはそういう意味なんだよ。その試合のファイトマネーは変わらないけど、後の興行がプラスになる。ただ今回はちょっとケースが違って、オプションって言って、もし俺がベルトを持って帰る事になったら、向こうのプロモーターがもっと強い相手を用意して、ベルトを取り返す為に、次の試合も向こうが相手を決めるよっていう理由で試合を組めた。だから次の試合もフィリピンでやらなくちゃいけないんだけど。それでまた勝ったら、興行権が完全にこっちに移ることになる。それで初めて、移籍させて貰ったっていう恩返しになる。

—それが世界戦になったら更に入る事になると

そう。でもまあ日本も(ボクシングを)賭博対象にしちゃえば良いんだよね。そしたら警察が入るから、違法な八百長もなくなると思うし、選手にとってもハングリー精神に繋がるしファイトマネーも多くなるし、アメリカで世界戦やったら5億、6億当たり前だからね。オッズとかにもよるけど、パッキャオ(注釈フィリピン出身、史上2人目の6階級制覇王者)とか47億円だよ？一試合で。フィリピン行ってみな。パッキャオだらけだからね。看板全部パッキャオ。ヘルメット持っていたりとか、変なクリーム持っていたりとか、バット持っていたりとか。おめー野球かよみたいな(笑)

そしてこの後、話はボクシングにおけるプロ・アマチュアの違い、今年から始まるWBCワールドカップ、岩井選手の座右の銘の話へ…。

後編へ続く

[岩井大選手のブログもよろしくお願いします。](#)